

# 筑波大学理療科教員養成施設紀要

第7巻 第1号

教育 研究 臨床

2021年12月

筑波大学理療科教員養成施設  
Acupuncture and Physical Therapy  
Teacher Training School

## 筑波大学理療科教員養成施設紀要

2021年12月20日発行 第7巻・第1号

## 目 次

## 【巻頭言】

退職にあたり

緒方昭広 …………… 1

## 【報 告】

視覚障害者を対象とするオンラインセミナーのよりよい開催方法についての検討  
—理療教育研究セミナーのオンライン開催を通じて—

工藤滋 …………… 5

## 【総 説】

理療を学ぶ生徒の視覚障害原因疾患とその生徒に接する際の注意点

沖中慎司、沖中美世乃、和田恒彦 …………… 15

上殿皮神経障害

渡邊開、栢森結希、徳竹忠司 …………… 21

K-ボンネットテストについて

徳竹忠司 佐々木皓平 …………… 25

日本国憲法における法の下での平等と性による差別、障害者の人権

伊東明子 …………… 31

シリーズ 心の専門家(1) 医師

沖中慎司、沖中美世乃、和田恒彦 …………… 37

## 【症例報告】

肩痛の鍼治療継続中に経験したリウマチ性多発筋痛症例

内田大司、濱田淳、和田恒彦 …………… 43

頸椎変性疾患既往がある患者の診療

—顕著な筋力低下の1症例と診療において注意すべき点—

沖中美世乃、和田恒彦、徳竹忠司 …………… 49

## 【活動報告】

筑波大学理療科教員養成施設活動報告（令和3年）

和田恒彦 …………… 55

## 【資 料】

…………… 60

編集規定・執筆規定

…………… 63

編集後記

徳竹忠司 …………… 66

# 筑波大学理療科教員養成施設紀要 編集規定

(2021年12月)

1. 筑波大学理療科教員養成施設（以下「理療科」）は教育・研究に係わる雑誌を発行する。  
雑誌の名称は「筑波大学理療科教員養成施設紀要」（以下「紀要」）とする。
2. 本誌は理療の教育・研究・臨床に関する価値ある論文で、国内外の他雑誌に掲載されていない、或いは現在投稿中でない論文を掲載する。
3. 本誌は原則として、年1回発行する。
4. 紀要掲載文の区分は以下の通りとする。
  - 1) 原著論文（査読有り）
    - (1) 理療教育、視覚障害教育に関する研究論文
    - (2) あん摩マッサージ指圧、鍼、灸を含む物理療法に関する基礎研究及び臨床研究論文
  - 2) 総説
    - (1) 視覚障害教育の主張及びあはき基礎・臨床研究・レビュー
  - 3) 報告
    - (1) 理療及び視覚障害教育実践報告
    - (2) あはき症例報告
    - (3) 理療臨床部活動報告
  - 4) 資料
    - (1) 卒業生進路状況
    - (2) 求人、就職状況
  - 5) その他
    - (1) 論説
5. 投稿文章は別に定める執筆規定に従い執筆する。
6. 紀要の編集及び投稿論文の審査をするために紀要編集委員会をおく。  
しかし論文の内容により外部に査読を依頼することがある。  
論文の採否は、原則として本会が決定する。
7. 投稿文章の筆頭者は、理療科に関わりがあると本会が認めた者とする。
8. 著作権は本会に帰属する。
9. 原稿は原則として返却しない。
10. 本紀要は医学中央雑誌および、つくばリポジトリに掲載される。

# 筑波大学理療科教員養成施設紀要 執筆規定

(2021年12月)

## 1. 原稿の構成

・原稿の区分に限らず本文は10,000字以内（英文原著では4,500語以内）、和文抄録は500字以内、英文抄録は300語以内、キーワードは5個以内、引用文献は30編以内、写真・図・表は計10個以内とする。

・原稿は和文または英文とする。

### 1) 原著論文、総説、報告

(1) 表紙（論文タイトル、著者名、所属機関名）、要旨、キーワード（3～5）、本文、倫理委員会による承認に関する記載、引用文献、図・表の説明、図・表の順で作成し、項目が変わるごとにページを換えて記載すること。

(2) 図・表は白黒で作成し番号を付けること。

(3) 所属機関名が複数になる場合は著者名の肩に1) 2) 3) …で記し、全著者名の下に所属機関と著者名が対応するように所属機関の前に番号を付けること。

### 2) 資料、その他

(1) 表紙（タイトル、著者名、所属機関名）、本文、引用文献、図・表の説明、図・表の順で作成し、項目が変わるごとにページを換えて記載すること。

(2) 図・表は白黒で作成し番号を付けること。

(3) 所属機関名が複数になる場合は著者名の肩に1) 2) 3) …上付きで記し、全著者名の下に所属機関と著者名が対応するように所属機関の前に番号を付けること。

## 2. 用紙・書式

1) 用紙はA4サイズで横書きとすること。原稿はワープロまたはパソコンを用い、12ポイント/ゴシック体で、本文は40文字×40行で作成のこと。

2) 項目の階層は以下の通りとする。

I, II, III …, 1, 2, 3 …, 1), 2), 3) …, (1), (2), (3) …, ①, ②, ③ …,  
a, b, c …, (a), (b), (c) …

## 3. 用語・単位

1) 和文は、口語体、当用漢字、新かなづかい、ひらがなまじりを用い、句読点・かっちは1字と扱う。外国語、外国人名、地名、機器名は原語のまま用いる。ただし一般に日本語化している外国語はカタカナを用いてもよい。

2) 度量衡の単位は、mm, cm, ml, dl, l, ng, μg, mg, g, kgと記す。

3) 年号は西暦とする。

4) 数字はアラビア数字を用いる。

5) 数字・英字は全て半角とする。

## 4. 文献

文献は引用文献に限定し、表記はバンクーバースタイルとする。

### 1) 雑誌中の論文の場合

引用番号) (本文中の引用順とする) 著者名 (著者が3名を超える場合は、4番目以降を省略し「ほか」、「et al」とする。人名の間は「,」で区切る)。論文タイトル (副題も含め全て記載する)。掲載誌名 (正式略名とする)。発行年 (西暦で記載する); 巻 (号): 起始頁 - 最終頁 (最終ページは起始頁と同一桁に同一数字がある場合は省略する)。

記載例 1) 筑波一郎, 文京太郎, 東京二郎, ほか. 身体調整の運動と意義 —鍼灸・マッサージと運動の科学—. 体育の科学. 2011;61(10):752-8.

2) Naruto Yoshida, Naoyuki Kobayashi, Akihiko Masunari, et al. Changes in the muscle reaction time of ankle periarticular muscles by balance training. J Phys Fitness Sports Med. 2013;2(4):493-500.

### 2) 書籍の場合

引用番号) (本文中の引用順とする) 著者名 (著者が3名を超える場合は、4番目以降を省略し「ほか」、「et al」とする): 表題. 書名. 編者名 (編者が3名を超える場合は、4番目以降を省略し「ほか」、「et al」とする). 版数. 発行者 (社). 発行地. 発行年 (西暦): 起始頁-最終頁.

例) 徳竹忠司, 佐々木皓平, 林健太郎. 医療と社会. 改訂第5版. 医道の日本社. 東京. 2022:105-19.

### 3) ウェブページの場合

作成者名. サイト名. URL (取得年月)

例) 厚生労働省. 令和2年 国民生活基礎調査の概況.

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa13/> (2014年8月取得)

### 4) 私信、未刊行物、投稿中の文献の場合

リストに入れず、本文中で説明するか、または脚注として示す。ただし、印刷中のものは文献欄に上記の引用方法で記載し、末尾に (印刷中、英文の場合はin press) と記載する。

## 5. 提出物の仕様

### 1) 投稿表 (本紀要の巻末に付録 本施設HPよりダウンロード)

(1) 筑波大学理療科教員養成施設紀要に投稿します。

(2) 年月日・タイトル・筆頭執筆者名・筆頭執筆者連絡先 (住所・電話番号・E-mailアドレス)

### 2) 印刷物 (2部)

「1. 原稿の構成」に従い作成した印刷物

### 3) データ

「1. 原稿の構成」に従い作成したデータを、文章はワードを、図・表はパワーポイント、エクセルを用いて保存したCDまたはe-mail添付ファイル。

## 6. 利益相反 (Conflict of Interest : COI)

利益相反に関係する事項は、その有無を本文の最後に開示すること。利益相反がある場合は、その内容 (物品・資金の提供など) を記載すること。

### 記載例

- ・ 該当しない場合  
「利益相反に関する開示事項はありません。」
- ・ 該当する場合  
「利益相反に関する事項を開示します。(企業名) から物品名・金額」

### 7. 原稿送付先

〒112-0012 東京都文京区大塚3-29-1 筑波大学理療科教員養成施設内  
紀要編集委員会 (担当 徳竹忠司)

TEL : 03-3942-6303

FAX : 03-3942-6335

e-mail : tokutaketadashi@icloud.com

---

## 編集後記

筑波大学理療科教員養成施設紀要が発刊されて、今回で7巻となりました。

創刊号の企画と2巻の編集の担当をしていました。紀要に関係します個人のデータを見ますと、創刊号の発刊は2015年12月でしたが、実際に動き出したのは2011年9月でした。「紀要案」として、編集規定・執筆規定の原案を作成していました。結局それから4年後にやっと発刊の運びとなったわけですが、作業工程表のようなものをきちんと作成しなかったための遅延であったと反省しております。

今後は、発刊に遅滞が生じないように、担当者は工程表を作成ししっかりと作業を進めたいと思います。

養成施設の紀要は、気楽に投稿できる冊子でありますので、多くの方の研究成果・意思表示・症例報告をお待ちしております。

7巻担当 徳竹忠司

---

### 筑波大学理療科教員養成施設紀要 第7巻1号

2021年12月20日発行

編集 筑波大学理療科教員養成施設紀要編集委員会  
〒112-0012 東京都文京区大塚3-29-1  
TEL : 03-3942-6303 FAX : 03-3942-6335

発行 筑波大学理療科教員養成施設

印刷 株式会社洋文社

# 投稿表

筑波大学理療科教員養成施設紀要に投稿します。

提出日 令和 年 月 日

タイトル

原稿区分 原著・総説・報告・その他 ( )

筆頭執筆者 氏名：

所属：

筆頭者連絡先 住所

電話

E-mail

紀要編集委員会記入欄

受付年月日 令和 年 月 日

受付番号



## 目 次

### 【巻頭言】

退職にあたり

緒方昭広 …………… 1

### 【報 告】

視覚障害者を対象とするオンラインセミナーのよりよい開催方法についての検討  
—理療教育研究セミナーのオンライン開催を通じて—

工藤滋 …………… 5

### 【総 説】

理療を学ぶ生徒の視覚障害原因疾患とその生徒に接する際の注意点

沖中慎司、沖中美世乃、和田恒彦 …………… 15

上殿皮神経障害

渡邊開、栢森結希、徳竹忠司 …………… 21

K-ボンネットテストについて

徳竹忠司 佐々木皓平 …………… 25

日本国憲法における法の下での平等と性による差別、障害者の人権

伊東明子 …………… 31

シリーズ 心の専門家(1) 医師

沖中慎司、沖中美世乃、和田恒彦 …………… 37

### 【症例報告】

肩痛の鍼治療継続中に経験したリウマチ性多発筋痛症例

内田大司、濱田淳、和田恒彦 …………… 43

頸椎変性疾患既往がある患者の診療

—顕著な筋力低下の1症例と診療において注意すべき点—

沖中美世乃、和田恒彦、徳竹忠司 …………… 49

### 【活動報告】

筑波大学理療科教員養成施設活動報告（令和3年）

和田恒彦 …………… 55

### 【資 料】

…………… 60

編集規定・執筆規定

…………… 63

編集後記

徳竹忠司 …………… 66